

自転車通学は12月6日までで終了です。

駒ヶ岳や鳥海山の山頂が白くなりはじめ、週間天気予報では雪マークが出てくるようになりました。大曲中学校では、安全面を考慮して12月6日（金）で**自転車通学を終了**することにしました。冬期間の通学方法（徒歩、バス、自家用車で送迎など）で登下校してください。自転車置き場に、6日（金）以降自転車が置きっぱなしにならないようにしてください。

◎来週の登校について

～降雪・積雪・凍結がある場合は、自転車を利用しない！～

家を出るときに雪がやんでいたら自転車でも来てもいいというわけではありません。最新の天気情報で、下校時はどのような状況になっているかを予想し判断してください。学校に自転車を置いて帰らなければならないようなことは避けてください。休日は各家庭での判断になりますが、安全第一でお願いします。

徒歩通学でも交通安全！

自転車通学が来週で終了すると、生徒の皆さんは徒歩か公共の交通機関あるいは保護者の車で登下校することになります。歩く距離に違いはありますが、歩行者としての交通安全を心がけなければいけません。「自分の命は自分で守る」「みんなが気持ちよく通行できるように」を合い言葉に、歩行者としてのルールとマナーを確認しましょう。

1 横断は、横断歩道で

本校は大仙市の中心地です。国道が2本走っているほかに交通量の多い幹線道路がたくさんあります。道路を横断する場合は、原則として歩行者用信号や横断歩道のあるところでしてください。夏と違って道路も滑りやすくなりますので、車が途切れるのをねらって横断するのは非常に危険です。絶対にやめましょう。

また、青信号で横断歩道を渡るときも、自動車が右折・左折してきましたりします。降雪時はドライバーも視界が悪くなりますので、歩行者に気付かないことも考えられます。道路を横断するときは、まわりの交通に注意しながら渡りましょう。



2 歩行者も1列で

歩行者として歩道を歩くときは、広がって歩くと他の歩行者の邪魔になります。積雪が増えたと歩ける部分も狭くなります。自転車通学と同様に1列で歩きましょう。

また、建物のそばを通るときは、つららや雪が落ちてくることもありますので、頭上にも注意をして歩きましょう。